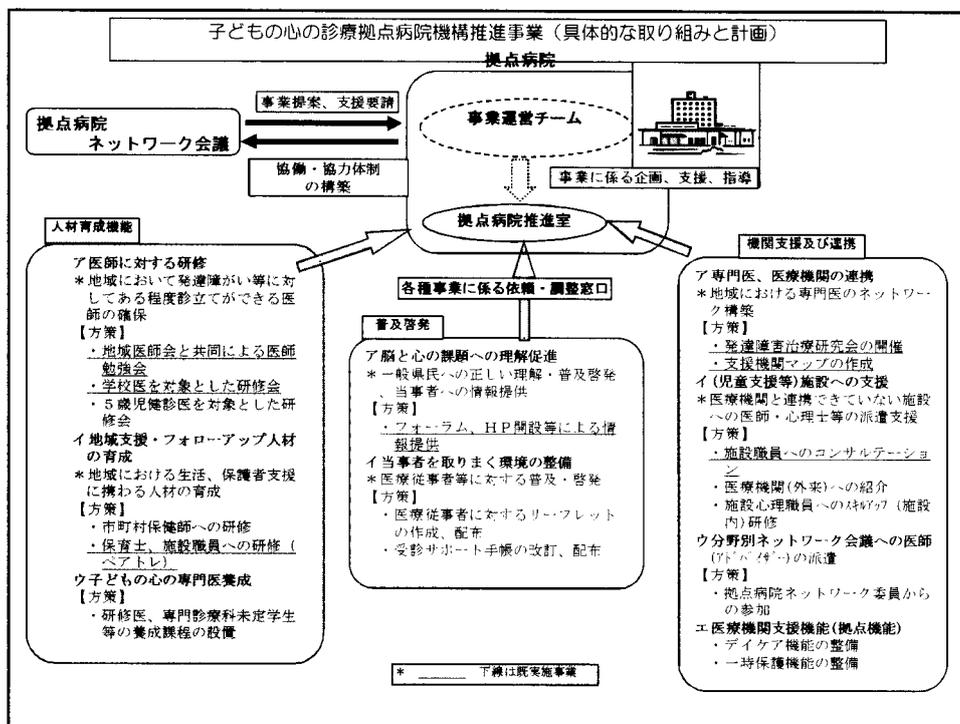




厚生労働省有識者会議
平成22年3月24日水曜日
中央合同庁舎第5号館6階
共用第8会議室

鳥取県子どもの心の診療 拠点病院機構推進事業

- 1 子どもの心の診療支援(連携)事業
- 2 子どもの心の診療関係者研修事業
- 3 普及啓発・情報提供事業



今までの取組内容とその評価

1 子どもの心の診療支援(連携)事業

- ① ネットワーク会議
- ② 事業運営チーム
- ③ 児童福祉施設への支援
- ④ その他

1 子どもの心の診療支援(連携)事業

① ネットワーク会議の役割

- ア 子どもの心の問題に関する医療と保健福祉関係機関との連携のあり方の検討
- イ 推進事業の円滑な実施に係る関係機関による意見交換及び提言
- ウ 子どもの心の問題支援に関わる地域福祉、保健、教育等関係機関の人材養成に対する提言
- エ 拠点病院と連携した児童福祉施設等に対する医療的支援、助言等の実施
- オ 前各号に掲げるほか、ネットワーク会議で検討が必要とされた事項の検討

1 子どもの心の診療支援(連携)事業

① ネットワーク会議 委員:計14名



- ・拠点病院医師 3名(脳神経小児科、精神科、小児科)
- ・拠点病院臨床心理士 2名(臨床心理学講座・教授)
- ・外部医師 2名(精神科医、小児科医)
- ・児童福祉施設代表 1名
- ・県福祉関係機関 5名(児童相談所、精神保健福祉センター、
総合療育センター、児童自立支援施設、
発達障害支援センター)
- ・教育関係機関 1名(教育センター)

① ネットワーク会議開催状況 -1

平成20年度

(1) H21.3.13(金) 委員13/14名 推進室2/3名 事務局5名

・ネットワーク会議立ち上げに当たっての確認

平成21年度

(2) H21.7.7(火) 委員9/14名 推進室1/3名 事務局5名

・県内医療機関支援マップ作成WG立ち上げ

・方向性の確認

「各分野の困難事例からネットワークのあり方を検証」



① ネットワーク会議開催状況 -2

(3) H21.11.3(火・祝) 委員13/14名 オブザーバー2名 推進室3/3名

事務局5名

・医療機関支援マップWG: アンケート実施(案)検討

・児童福祉施設職員研修ニード調査実施を検討

・鳥大に事業運営チーム設置(月に一回開催)



(4) H22.3.14(日) 委員8/14名 オブザーバー1名 推進室1/3名 事務局5名

・医療機関支援マップアンケート集計、二次調査実施検討

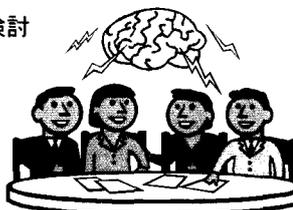
・児童福祉施設職員、保健師研修ニード調査結果

・事例を通してのネットワーク構築について検討(医療と福祉)

1 子どもの心の診療支援(連携)事業

② 事業運営チーム会議(拠点病院推進室)

- ・H21.11月から開始(月に1回開催)
- ・メンバー: 6名
 拠点病院医師(脳神経小児科2、小児科、精神科)
 医学部臨床心理学講座・教授
 拠点病院臨床心理士
- ・活動内容
 ネットワーク会議での課題について検討
 ネットワーク会議への提案事項について検討
 研修会や講演会の計画 など



1 子どもの心の診療支援(連携)事業

③

(1) 児童福祉施設訪問実施

- ・ 訪問先: 児童養護施設 2ヶ所
- 母子生活支援施設 1ヶ所
- 乳児院 1ヶ所



(参考) 鳥取県内児童福祉入所施設

- | | |
|-------------|-----|
| 児童養護施設 | 5ヶ所 |
| 乳児院 | 2ヶ所 |
| 情緒障害児短期治療施設 | 1ヶ所 |
| 自立支援施設 | 1ヶ所 |
| 母子生活支援施設 | 5ヶ所 |



③ 児童福祉施設への支援

(2) 臨床心理士による施設訪問実施

- 児童養護施設、児童自立支援施設等に出向き、事例検討会に参加する他、職員へのコンサルテーションを行う。

児童自立支援施設を週1回訪問(H20年度)

・職員コンサルテーション	6回
・事例検討会	3回
・合同研修会	1回



* H21年度は、同様の内容を施設非常勤職員として勤務して実施

④ その他

他県との情報交換



H21.5月 神奈川県立こども医療センターに出向き、情報交換

☆☆☆ [子どもの心の診療支援(連携)事業の評価] ☆☆☆

- ネットワーク会議を設置したことで、医療と保健、福祉、教育との連携体制をとるための共通理解が図れた。
- H21年度は、子どもの心の課題に関する医療支援マップの作成に着手したり、既存の事例検討会へ参加するなど、具体的な連携に関する取り組みにつながった。
- 拠点病院内に事業運営チームを設置したことで、拠点病院としての事業の企画や検討に機動性が増した。
- 他県を視察し、情報交換を行ったことで、今後の取り組みの参考となった。
- 心理士の施設訪問により、施設職員にとって、心理士からの視点による子どもの見方が子どもへの施設内支援の幅を広げることにつながった。

2 子どもの心の診療関係者研修事業

- ① 医師に対する研修
- ② 地域支援・フォローアップ人材の育成

2 子どもの心の診療関係者研修事業

① 医師に対する研修



(1) H21.2.14(土)、H21.6.27(土)

地域の開業医が発達障がい児の理解を深め、その診療を行うための普及研修会



講師: 鳥取大学医学部脳神経小児科 大野耕策教授

演題: 学習の遅れやこころの問題をおこしやすい「発達障害」

参加者: 約40名、約100名

(2) H21.11.1(日) 鳥取県医師会第1回学校医・学校保健研修会

講師: 鳥取大学医学部脳神経小児科 大野耕策教授

演題: 学習の遅れやこころの問題をおこしやすい「発達障害」

参加者: 約100名



2 子どもの心の診療関係者研修事業

② 地域支援・フォローアップ人材の育成

(1) 家庭療育支援講座(ペアレントトレーニング)実施

- ・ 対象: 知的障害児通園施設、児童デイサービス利用児の保護者
- ・ 期間: 全6回(約3ヶ月: 2週に1回) 年2回ずつ実施
- ・ 参加人数: 7人~11人/1回
- ・ スタッフ: 井上雅彦氏、大学院学生、本事業推進室スタッフ等



(2) PARS講習会実施

- ・ 対象: 医師、保健師、専門職
- ・ 講師: 辻井 正次氏(中京大学現代社会学部教授)
- ・ 参加者: 60名

(3) AD/HD児への効果的な支援のあり方(くるめSTP)実施

- ・ 対象: 教育、医療、心理、福祉の専門家及び学生
- ・ 講師(NPO法人くるめSTPスタッフ)
山下裕史朗氏(久留米大学医学部小児科准教授)
向笠 章子氏(聖マリア病院臨床心理士)
赤星 清美氏(久留米市立久留米養護学校)
他臨床心理士3名
- ・ 参加者: 85名



[子どもの心の診療関係者研修事業の評価]



- 地域医師の関心が高まり、県医師会からの「発達障がい」等に関する研修会開催の依頼につながった。
- ペアレントトレーニングを通じて、保護者の子どもへのかかわり方の能力が高まりつつある。
- 支援者側である専門職に様々な支援の方法を紹介することができた。
- ★ 今後は、医師だけでなく、保健師、児童福祉施設職員に向けての研修を計画。
- ★ ペアレントトレーニングでは、ファシリテーターを養成し、身近な地域でも実施できるように計画。
- ★ 研修等については、拠点病院がある圏域(県西部)での開催がほとんどであったが、今後は、その他の圏域(県東部、中部)でも開催も検討し、全県の支援者のスキルアップ、レベルアップを図ることを検討。
- ★ 健診で使えるパンフレットや保護者支援テキストの作成を計画。

3 普及啓発・情報発信事業

- ① 普及啓発フォーラム、講演会
- ② 普及啓発ホームページ

3 普及啓発・情報発信事業

① 普及啓発フォーラム、講演会

(1) H21.3.20(祝・金) 事業受託記念講演会(約300名)

[講演] 加藤 進昌氏 「こどもの心と脳のはたらき
～アスペルガー症候群の脳科学から～」

(2) H21.5.30(土) 第51回日本小児神経学会 市民公開講座(約550名)

(思春期の子どもに関するフォーラム)

[講演] 香山 リカ氏 「思春期のこころと現代」

[シンポジウム]

「発達障害とこころの問題」

- ・奥山真紀子氏(国立成育医療センター)
- ・汐田まどか氏(県立総合療育センター)
- ・千羽鶴氏(当事者保護者会)
- ・井上雅彦氏(鳥取大学院医学系研究科)



(3) H22.1.10(日) 拠点病院事業普及啓発フォーラム(約180名)

[講演] 杉山 登志郎氏 「発達障害から発達凸凹へ」

3 普及啓発・情報発信事業

② 普及啓発ホームページ

H21.3月 ホームページ開設

講演会チラシ等の情報を掲載



高野女子大学附属病院
子どもの心の診療拠点病院推進室



ホーム | 病院基盤の基盤 | 子どもの心の診療拠点病院推進室 | 事業内容 | お問い合わせ |

項目の紹介

ようこそ「子どもの心の診療拠点病院推進室」へ

項目の診療科目

「子どもの心の診療拠点病院推進室」では、子どもたちの心の健康を大切にするために、様々な取り組みを行っています。

項目の取り組み

項目の関連リンク

最新情報

2019年7月14日(月)開催

2019年7月14日(月)開催

2019年7月14日(月)開催

バナー

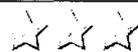
バナー

バナー

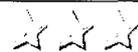
最新情報

最新情報

最新情報



【普及啓発・情報発信事業 評価】



- 講演会は「発達障がい」を基本テーマとして開催した。それぞれの講演会とも、数多くの参加者があった。発達障がいへの関心の高さが伺われた。
- ホームページを開設することができた。今後さらに子どもの心に関する情報を収集し、掲載して、広く啓発を図っていく。
- ★ (リーフレットの作成ができていなかったため、)事業周知のためのリーフレット作成を計画。



平成22年度活動計画

1 子どもの心の診療支援(連携)事業

- ①分野別支援ネットワークへのアドバイザー派遣
- ②児童自立支援施設・児童福祉施設等への支援強化(事例検討、訪問と支援ニーズ)
- ③支援機関マップの作成(子どもの心の診療医マップ)

2 子どもの心の診療関係者研修事業

- ①医師に対する研修・養成
 - ・鳥取県中部医師会を対象とした研修会(講師・児童精神科医)
 - ・子どもの心の診療医育成後期研修コース
精神科・小児神経専門医取得 + こどもの心の診療医の実施研修施設研修(鳥取県専門研修支援事業)
- ②地域支援・人材の育成
 - ・保健師向け講習会(ペアレントトレーニング指導者養成)
 - ・児童福祉施設職員向け研修会

3 普及啓発・情報提供事業

- ①市民フォーラムの開催(東部、中部)
- ②保護者向けリーフレット作成(解説、Q&A、保護者、保健師が使用できる)